

地区目標

「美しい心、ロータリアンの矜持
～修養、友情、情熱、奉仕、平和、感動～」

クラブテーマ

「あなたのロータリーをみつけよう」

- ◆点鐘：半田 稔 会長
- ◆ロータリーソング：四つのテスト
- ◆司会：東海林仁 副 S.A.A.
- ◆会場：大沼デパート



ロータリー： 変化をもたらす

第2791回例会 平成29年11月27日(月)



会長挨拶

半田 稔 会長



地区大会

先々週は地区大会が寒河江市で開催され、12日(日)には、40名を超える会員の方にご出席いただきました。クラブ、個人で多くの表彰をいただきましたが、長谷川浩二さんの40年間皆出席が最も光り輝いております。誠にありがとうございます。

16日(水)には佐山雅映先生がお亡くなりになり、19日(日)に葬儀が行われました。佐山先生は昭和52年9月10日のご入

会で、今年度で在籍40年を超え、来年の地区大会では表彰を受けられるところでした。18日(土)には米沢上杉RCの創立55周年記念式典があり、私と武田周治理事とで出席してまいりました。

さて、地区大会では、奈良薬師寺の元管主、故高田好胤(こういん)さんのお嬢さんであるエッセイストの高田華聖(けしょう)さんの記念講演がありました。

高田好胤さんと言えば、法話が面白いお坊さん、写経勸進でお金を集め、薬師寺を再生したことで有名です。華聖さんも、話が面白く、会場を笑いに包みながら、好胤さんのエピソードなどを語ってくれました。

私事ですが、5月に薬師寺を訪れたばかりで、お坊さんの法話を聞いてきました。こちらも好胤さんのお弟子さんだけのことはあり、笑いをとりながら薬師寺の歴史や仏教のことを、わかりやすく話してくれました。

「誹り(そしり)は信念の肥やし」

高田華聖さんの話にもあったのですが、薬師寺はもともと仏教を勉強するための大学のようなところで、檀家がなくて、お金を集めることができなくて、伽藍の修繕なども思いどおりにいかなかったそうです。高田好胤さんの発案で、般若心経の写経勸進をするようになり、白鳳時代の伽藍が次々と再建されました。

私の妻の場合は、写経納経供養料として2000円で写経セットを購入し、家に帰ってから写経し、これを薬師寺に郵送しました。納めた写経は永代供養されます。薬師寺で写経することも、写経セットを郵送で取り寄せることもできます。

そのようなことから、高田好胤は金儲けのうまい坊主、というあまり良くない評判が立ちました。しかし好胤さんが最初に昭和43年ころに10億円を集めようとした際、松下電器から全額寄付の話があったのを断ったそうです。そして昭和51年には、1巻1000円で100万巻の写経を集め、目標を達成しました。単に金を集めるのではなく、多くの人に写経してもらうことに意味があると考えたのですね。

好胤さんは、「誹り(そしり)は信念の肥やし」と言っていたそうです。自分の信念を持って事を行ってれば、人から非難されても、くじげない、その人に理解してもらえるよう、なお一層の努力をする、ということです

幹事報告

五十嵐 信 幹事

- 佐山雅映会員の奥様より黙祷への御礼とご寄付を頂戴いたしました。次回からも「写楽の会」に出席していただければと思います。
- 地区大会で震災の事業に対してガバナー賞をいただいております。また、長谷川浩二さんが40年皆出席で表彰されました。バッジは後ほど来ます。
- 米山功労者のメジャードナーに伊藤義彦先生が19回になります。また、今日欠席の遠藤栄次郎さんは24回になります。

米沢上杉RC 創立55周年記念式典



半田会長、武田理事
2人で参加

委員会報告

親睦・家族委員会

遠藤 正明 委員長

おたのしみ抽選会への協賛をお願いしたいと思っております。改めて、書類等も出しますので、よろしく願いいたします。

12月18日、楽しいクリスマス家族会を企画しておりますので奮ってご参加ください。

青少年委員会

佐藤 英一 委員長

小林由佳さんが11月1日から3ヶ月間新しいホストファミリーに変わりました。ひと安心な船出というところです。

ニコニコBOX

半田 稔会長／山形西RC会長として、11月11日、12日の地区大会への多数の参加ありがとうございました。

山形県弁護士協同組合理事長として、11月17日に、協同組合創立20周年記念式典を無事終えることができました。

遠藤靖彦さん／昨年の会員拡大について表彰をいただきましたのでここにこさせていただきます。

富田浩志さん／高円宮妃久子殿下の主催するパーティーに参加する機会を得まして、直接、名刺をお渡しする貴重な経験をさせていただきました。関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

武田元裕さん／旧山寺ホテルで見つかった高橋源吉の原画「最上川本合海」の修復の為に、募金をお願いしたところ、無事目標額を達成しました。ご協賛いただきました皆様、大変ありがとうございました。



ホテルあれこれ

山形グランドホテルの副総支配人として、主に総務、経理、財務、施設担当をしております。ホテルにつきましては出張、旅行等には欠かせないツールのひとつだと思っております。では、「ホテル」とつく種類はいくつあるかご存知でしょうか。シティホテル、ビジネスホテル、リゾート

ホテル、温泉観光ホテル、それからラブホテルです。日本一客室の多い巨大ホテルは品川プリンスホテル。客室3679室で、タワーが3つほどありまして、ひとつの街になっております。ビジネスホテルは、APAホテルの東京ベイ幕張、ここが2007室あり、日本一になっております。

それでは日本のホテルの「旧御三家」は、帝国ホテル、ホテルオークラ東京、それからホテルニューオータニです。1990年代になりますと「新御三家」、パークハイアット東京、ウェスティンホテル東京、ホテル椿山荘です。今は外資系のホテルが乱立しておりまして、ザ・ペニンシュラ、マンダリンオリエンタル、ザ・リッツ・カールトン、それからシャングリラ、フォーシーズンズ、アンダーズ、アマン東京、次から次へと出てきております。唯一日本のホテルでランクインしているのが、星のや東京です。

ビジネスホテルのワシントンホテル、サンルート、東急イン、これが「旧御三家」と呼ばれ、「新御三家」は、ルートイン、東横イン、ホテルアルファワン。今猛出店ラッシュしているのがAPAホテルです。

当ホテルに宿泊するお客さまの80%がビジネス客になります。圧倒的に男性が多いです。そのほとんどがネットでの予約になります。電話予約の時代から比べますと、お客さまもホテルにとっても非常に効率が良くなっております。当ホテルは美術館にもなっておりまして、グランド美術館と称して一般公開しております。100点ほど美術品があるのですが、特に1階にある美術品、彫刻につきましては、家が2、3軒建つほどの価値があります。当然、客室にも本物の絵があります。

そのほか当ホテルには、常陸宮様や礼宮様、宮とつく皇族の方が何度か宿泊されました。また、天皇、皇后両陛下にも食事の提供をしたことがあります。その日は文翔館2階が昼食会場だったのですが、この日のために1個数十万円の漆塗りの弁当箱を準備しまして、保健所立ち合いの下で、調理場で調理しました。原価100%以上の料理を作りましたが、そのスタッフの話によりまして、ひどい緊張で手が震えたと言うのです、この上ない名誉だと言っておりました。

最後に少しだけPRさせていただきますと、当ホテルも経営体制が変わりまして3年目になりますが、地域の皆さまに支えられながら地道にがんばっております。行政から許可が下り次第、年明けの2月から耐震工事が始まります。営業しながら約半年間の大工事になりますが、あわせて化粧直しをしまして、来年秋にはリニューアルオープンする予定でございます。今後ともご愛顧のほどよろしく願いいたします。



会社の引き継ぎ

私は経営コンサルティングの仕事をしていただいております。会社で行う会議の支援、会議を通して人材を育成していく支援をしております。年間600回程いろんな企業さんの会議に参加する中で、率直に私自身が感じた部分をお伝えさせていただければと思います。

中小零細企業の会議に入りますと、何となくどういう会社なのかというのが見えてきます。まずは社長の人となり。そして経営幹部。その方々を見ると、こういう会社なんだと分かる部分が出てきます。大抵は社長が引っ張っていますから「文鎮型経営」です。トップダウンしていくという会社がほとんどでございます。やはりそうしていかないと成長はしていかないとしますので、それは良いことだと思うのですが、気づくと、その周りに経営幹部が育っていない、現場の責任者はいるのですが、経営においての右腕左腕がないという現状が多々あります。その中で引き継いでいかななくてはいけない。息子さんに引き継ぐ、経営幹部に引き継ぐということになりますけれども、いざ引き継ごうとなったときに、なかなか引き継げないという現状があります。ましてや息子さんに引き継ごうとしたときに、コミュニケーションがなっていないというのが非常に多くありまして、しかも仲が悪いというケースです。普段から話をしなかったり、経営についての話も一切しないというところがほとんどの会社で見受けられます。息子さんに対しては、社長の志など、変えなきゃいけないもの、変えてはならないもの。どういう思いで創業して、どういう思いでやっているかというところをしっかりと引き継ぐべきだという話をさせていただきます。息子さんが引き継ぐと、父親世代の経営幹部の方々を、排除しようとする。やりにくいわけです。それで、新しい人を入れていこうとします。そこで今度は摩擦が起きて、組織がうまくいかないというケースがあります。そのときに、今の10代、20代の若い方々とのジェネレーションギャップが非常に大きいと感じます。若い方々は、納得しないと動かないというのが非常にあると思います。若い人たちには、スピード感を持たないと動かないとすごく感じます。

皆さんの会社はどうですか。新入社員とのコミュニケーション不足などよく言われますけれども、言葉にできないというケースも非常にあります。

いろんな会議を見させていただいて、感じる部分をお伝えさせていただきましたが、そんなことは分かっていると思われるかもしれませんが、第3者として支援にさせていただいておりますので、第3者だから言えること、第3者だからこそやれることというのがあって思っております。もし何かあれば支援をさせていただければと思います。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (11/27)	101名	59名	修正出席 (11/6)	102名	90名	88名	97.78%
メイクアップされた会員	(山形中央) 小松 公博、 (山形東) 鈴木 隆一、武田 秀和、鈴木 謙司、風間 義朗、長岡 勲、宇佐見俊治、清野 伸昭、伊藤 義彦 門馬 孝 (山形東) 松原 洋、風間 義朗、長岡 勲、石井 雅浩、高橋 勝治						